

コロナ禍での婚活パーティー開催

コロナ禍での婚活応援活動は厳しく、この数年は大勢を集めてのパーティーなどは控えてきましたが、感染状況の低い間に、思い切って、去る11月6日、3年ぶりに「アフタヌーンティーと婚活」と銘打って婚活パーティーを開催しました。いわゆるアラフォー世代に的を絞って募集したところ、思った以上の応募があり、定員の2倍を上回る希望者から抽選で12対12にしました。

結果は2組のマッチング(交際を始めた)があり、連絡先交換などは更に3組程度あったようで、一応「成功」と自己評価したところです。

コミわか婚活応援隊は、「少子高齢化を憂い健全な婚姻の成立に寄与し住民福祉の向上を目指す」の目的で平成27年に発足。早7年になります。ボランティア隊員は6名。

昨年12月現在、登録者同士の成婚7組、登録者の成婚が30組の実績です。他の団体の実績から見るとトップクラスの成果であり、関連の婚活インストラクターからも高い評価を頂いています。

毎月第3の土・日に結婚相談日を設け、隊員が交替で面談をしています。その後、登録した人には、お相手を紹介して、合意が計られれば見合いをセットしていきます。その後のフォ



ローやアドバイスなどして、結婚の意欲を高めていきます。

世の中は、強く結婚を望まない若者も多くなっており、このままでは国や地方の衰退につながるものと懸念して、少しでもその流れに竿さしたいと考えています。

興味のある方一緒に活動しませんか？ 応援隊員随時募集中です。成婚に結びつく出会いのお手伝いが成功した時の喜びは代えがたいものです。(コミわか婚活応援隊)



パーティーの様子です



人権に関する 作文発表(北部中学校)



コミわかでは人権教育・啓発活動として、小中学校の生徒さんに人権に関する作文を寄稿していただいています。今回は北部中学校3年生の作文をご紹介します。この機会にご家庭内で人権について話し合ってみてはいかがでしょうか。(人権教育部会)

「友達といることで」



北部中学校三年 田中 掌恵

僕には、昔から気を付けていることがあります。それは、人との関わり方です。親にも言われ続けていたので、個人的にも気を付けてきました。小学校に入学した頃は、保育園の時の友達以外は知っている人が少なく、最初はうまくいかないこともありましたが、新しい環境に慣れていくにつれて、友達も増えていきました。きっと中学校でも同じような感じになるだろうと思っていました。しかし実際は、小学校の頃よりも周囲の視線を気にするようになっていて、入学したての頃は、ただただ周りの目が怖く、小学校からの友達にくっついてきたような状態が続きました。それからしばらくして、新型コロナウイルスの影響で学校が休校になりました。学校が再開してから、不安しかなかったですが、このままでは何も変わらないと思い、クラスのルーム長になり、部活動にも入りました。それにより、人と関わる機会も増え、どんどんと環境にもなじみ、友達も増えました。人間関係も広がり、新しく学ぶこともあり、学校生活も楽しくなりました。夏休みや冬休みには、友達から遊ぼうと誘われることもあり、その時はうれしかったです。実際、遊んでみても、みんなよい人たちで、周りの視線も怖くなくなりました。

二年生になるとクラス替えもありましたが、前のように長い間なじめないということもなく、すぐに仲良くすることができました。そして今、文化祭などの行事も協力し合える団結力の強いクラスで、北部中学校の三年生として生活を過ごしています。僕は、友達ができたことで、今の自分があると思っています。友達といることで楽しく話せたり、笑ったりできる今があると思います。友達のおかげで楽しい学校生活が過ごせて、自分の世界観も広がりました。これからは高校受験などで大変になるとは思いますが、友達と共に乗り越えていきたいです。